第３学年　特別活動（学級活動）学習指導案

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　日　時　　平成30年６月27日（水）５校時

児　童　　紫波町立日詰小学校　３年１組

　　　　　　　　（男15名　女18名　計33名）

　　　指導者　　Ｔ１　教諭

　　　　Ｔ２　栄養教諭

１　題材名　「苦手な物でも食べよう大作戦」【学習指導要領学級活動の内容（２）－エ】

２　題材について

　　　本題材は学習指導要領における学級活動２（２）「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」のエ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」に係る内容である。

　　　成長期にある児童にとって食事は欠かすことができないものであり、生涯を通じた健康づくりの観点から

も栄養のバランスのよい食事内容を知り実践することは大切である。しかし低学年では、好き嫌いだけで給

食を残してしまう現状や、家庭では苦手な物を食べないという傾向も見られる。

そこで、食品が体の中でどのようにはたらくかを知り、健康な体を作るために苦手な物でも食べようとす

る態度を育てることを本題材のねらいとする。

３　児童について

　　　本学級の児童は３年生になってクラス替えをしたが、みんなで協力して給食の準備や片付けができる明る

く素直な子ども達である。食物アレルギーによる弁当持参の児童が１名、エピペン持参の児童が１名いるが食事についての事前アンケートでは、ほぼ全員が「給食が好き」と回答しており、給食の時間を楽しみにしている。極端な偏食のある児童が３名いるが、自分の食べられる量を考え、残さず食べようとルールを決めて残食ゼロを目指そうと取り組んでいる。

４　指導にあたって

　　　本時では、本校の食育の目標である「苦手な物でも一口は挑戦」を実践するための方法を３年生なりに考え実行させたい。そのために、食べ物アンケートの結果を提示することで、自分たちの苦手な食べ物を意識させたい。「知ろう」の段階では、自分の体を実際に触ったり、自分の生活と照らし合わせたりしながら食べ物と体の関係を感覚的に捉えさせ、いろいろな食品を揃えて食べることで健康な体ができることを知らせたい。「考えよう」の段階では、自分たちが苦手な食べ物はどのはたらきに分けられるのかを３色マグネットを用いて視覚的に確認し、その食べ物にどのように挑戦していくか、班での話し合いを取り入れて考えを深めさせたい。「決めよう」の段階では、学習したことや出された考えをもとに自分ができることを自己決定させ、事後指導に取り組むことで苦手な物にも挑戦して食べることにつなげたい。

５　食育の視点

　　　食品と体との関わりについて知り、苦手な物にも挑戦して食べようとする意欲を持つ。【心身の健康】

６　他教科との関連

　　　体育科（保健領域） 第３学年及び第４学年「けんこうによい１日の生活」

　　　総合的な学習の時間 第３学年「食べ物はかせになろう」

７　指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習場面 |
| 事前 | 食べ物アンケート | 学級活動 |
| 本時 | 苦手な物でも食べよう大作戦 | 学級活動 |
| 事後 | 苦手な物でも食べよう大作戦カード | 給食の時間 |

８　本時の指導

　(1) ねらい

　　食べ物には体によいはたらきがあることを知り、苦手な物でも挑戦しようとする意欲を持つことができる。

　(2) 本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 資　料 |
| T1（学級担任） | 　T2（栄養教諭） |
| 導入８分 | １　アンケート結果を見ながら自分たちの食事をふり返る。２　好きな物だけ食べたらどうなるか考える。３　本時の学習課題を把握する。にが手な物でも食べよう大作せん | ○自分や友達に苦手な食べ物があることに気づかせる。○好きな物だけ食べたらどうなるのか予想させる。 | ○アンケート結果を出す。○出された意見を板書する。 | 食べ物アンケート |
| 展開２７分 | ４　学習の流れを確認する。・食べ物のはたらきを知ろう・にが手な食べ物に挑戦する作せんを考えよう・自分ががんばることを決めよう・５日間やってみよう知ろう５　今日の給食をもとに、食べ物が体の中でのはたらきによって、３つに分けられることを知る。６　アンケート結果に出てきた苦手な食べ物がどのはたらきになるのか確認する。考えよう７　給食で苦手な食べ物に挑戦するための作戦を考え、発表する。（班活動）・すきな物といっしょに食べる。・先に食べる。８　今日の学習をふり返る。食べ物には体によいはたらきがある。にが手な物でもちょうせんしてみよう。 | ○学習の流れを確認する。○３色マグネットを使って苦手な食べ物がどのはたらきになるのか分けていく。○班でお互いの考えを交流し、発表させる。 | ○実際に体を触ったり動かしたりしながら食べ物と体の関わりに気づかせる。○給食には３つのはたらきの食べ物が使われており、３つのはたらきがそろうと健康になることを話す。○児童が考えた方法について板書し、よりよい工夫等を伝える。 | 給食の写真紙板書３色マグネット黄・赤・緑のマグネット |
| 終　末１０分 | 決めよう９　学習したことをもとにこれから苦手な物に挑戦するための目標を決め、発表する。やってみよう10　５日間、カードに取り組む。 | ○出された考えをもとに、これから挑戦することを自己決定させ、記入させる。○苦手な物がないと回答した児童には個別に対応する。〇カードに取り組むことを話す。 | ○児童から出た考えを称賛し、実践への意欲を高める。 | 大作戦カード |

９　評価　　食べ物には体によいはたらきがあることがわかり、苦手な物にも挑戦しようとする意欲が持てたか。（大作戦カード）

10　板書計画

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　考えようにが手な物でもたべよう大作せん　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 きゅう食でにが手なものにちょうせんする作せん・・・・知ろうう　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 体をつくるにが手な食べ物アンケート　　　　　　　３つのはたらき給食の写真 体の調子を整えるエネルギーのもと食べ物には体によいはたらきがある。にが手な物でもちょうせんしよう！　 すきな物だけ食べると　　決めようやってみよう |